

(注意点)

基本構想策定委員会側委員の発言は、策定委員会及び各部会でこれまで積み重ねた議論に基づく委員個人の見解であり、最終的な素案は策定委員会で協議の上、決定される予定です。

第4回 市民文化ホール建設基本構想（素案）に係る小委員会 議事録

平成22年6月18日 10:00～ 本庁5階第1委員会室

(□策定委員会側委員 ■議会側委員)

市民文化ホールの運営形態や建設までの進め方等について
概要説明（守谷 基本構想策定委員会第3部会リーダー）

- : 運営団体について、例えば行政・専門家・市民が一体となり運営する方法など、様々な方法があるが策定委員会としてどの方法がよいと考えているのか。
- : 人口減、流入人口を取り入れ、市民参加を促すしかけが必要と考える。運営団体については正直迷っており、現時点で提案できない。現在は財団法人が運営する時代ではなく、LLCはどうかと土井委員から提案され、検討が必要であると考え。
- : ホール全体の規模・場所・位置づけが決まっていない段階でイメージがわからない。

委員の環境カウンセラーとしての意見が基本構想に反映されるのを期待していた。

先日、母親大会を福社会館で行ったが、音響のプロに機材を持ち込んでもらった。準備段階でトラブルが起きることもあるので、現場にプロがいるのは大変ありがたいと感じた。機器にしてもモノがあればよいのではなく、それを使いこなせるプロがいなければ「猫に小判」である。バランスが大切と考える。

テレビ番組で炭鉱のまちの100年続くまわり舞台のある芝居小屋を取材しており、その中で20代の若者の就職希望があったとのこと。地域に根付くのが本当の文化と考える。

建物は100年持つが、いかに活かしていくのがテーマである。市民に愛され、感動してもらえるか、チケット代が高くて利用しないのでは意味が無い。

- : 環境対応については、基本構想策定委員会の各部会間で連携しており、環境カウンセラーとして施設面でアドバイスしている。

施設を100年もたすことがゴミを出さずエコであると考え。40～50年では意味がない。

設備について、初期投資を抑えるため、必要な時に必要な機材を持ち込めばよいとの意見もある。

内子座も 20 年前に 7,500 万円で改修、住民のサポーターも誕生し自主事業を行なっている。このような取り組みからふくよかな文化が生まれるのではないか。

コンセプトに合った設計者を選定することが大切で、設計者にコンセプトが伝わり、100 年もつ仕組みを今後検討する必要がある。

: プロがいなければという意見はありがたい。

それぞれの専門家を置くにはコスト面、スタッフの確保などの課題もある。コストについてはどこまでが使用者のコストか、また管理者のコストにするのかの議論もある。サービス向上とコスト削減が今後のテーマである。

: これまで各部会の説明を受けたが、今回の説明が前回の施設・機能の説明の前でも良かったのではないか。

文化ホール建設を自動車の購入に例えると、大衆車、スポーツカー、クラシックカーなどさまざまなタイプがあるが、どの様な車を買おうとしているのか「ずれない軸」を作ってもらえれば、装備はおのずと見えてくるのではないか。なぜ四国中央市にこの施設を造るのか曲げられない軸があれば市民は納得すると考える。

松山市の坂の上の雲記念館も今は建築家のネームバリューで来場者があるが、20 年後の維持管理は大変だと考える。

: 規模・機能については用地が決まっていない中で苦労している。予算も決まっておらず、大きな問題である。委員の積上げ方式もありだと考える。積上げることで予算は具現化するが、それ以上は大きくなる。予算は大きな問題である。

3 部会で積上げた全般の中で選択し、議員の皆さんがこれくらいの予算を認めてもいいのではというのが出る時期に、取捨選択する作業が設計業務ではないか。スポーツカーから大衆車への変更もあり得ると思う。

: 策定委員会の最終時期はいつになるのか。建設委員会について、建築士の関係 3 団体が関わってくるのか。またどのような流れになるのか。

: 素案のスケジュールのとおり、8 月に正式案を提出後、策定委員会は解散する。建築士の 3 団体が入札制度のガイドラインを設定している。議会や公募市民委員や策定委員も残った建設委員会で設計者を選定できる仕組みで、基本構想が設計者に通じるような委員会を考えている。選択方法を設定し、建設委員会で決めてほしい。

: 運営形態について策定委員会では、これまで 1 年かけて可能性を洗い出し、絞り込んで基本構想を協議してきた。最終的には行政内部で絞り込んでいくのではないか。1 つに絞りきれないのは承知で提案している。

: 様々な質問があるが、具体的な形が見えてこず難しい面があるのは理解で

きる。

：市民参画型として、市民を置き去りにしないのが大切である。市民の話題の中に文化ホールを下ろす作業が必要である。自分たちのホールであると思ってもらうために愛称をみんなで考えるのを構想に入れてはどうか。いわき市のアリオスも愛称を公募した。またタイルを 1,000 円で購入し、名前などを入れてもらい施設に貼り付けるなどの市民参加の形もあるのではないか。

：愛称を市民の手でつけるのは賛成である。可児市のホールは愛称を全国公募した。記念植樹などの案があるが、施設に記念の何かを残すのは逆にマイナスイメージの場合もある。

夢が膨らみすぎるとプランが実施できる、できないという意見もあり、設計時に議論してほしい。

：愛称募集について、策定委員会では全員賛成であった。ネーミングライツについては賛否両論であった。特定企業の名が付くことは自分たちのものという気持ちになるのか。お金のためのネーミングライツではなく、愛称がいいのではないか。

市民の愛着を高める事業については基本構想素案内にも「キャンバスプロジェクト」として提案している。

：運営組織を具体的に決めて設計に入る方が良いのではないか。

：そのとおり。ハード、ソフトどちらが先か。イメージを決めて設計する方が良い。運営組織については 9 月までにイメージできるのではないか。指定管理者はイメージできるが、NPO は難しいのではないか。また組合方式も考えられ、今後協議したい。

：指定管理者については市内でもアリーナ土居、保育園等もあるので検討した上で運営組織を決めてほしい。

：運営組織について、規模や位置が決まらないのに、そこまで決める必要があるか。

ネーミングライツに反対の意見が多いと聞き安心した。渋谷公会堂はネーミングライツで CC レモンホールとなったが、市民に与える影響は大きいと考える。寄付等については、立場や経済的な理由からできない人が排除されるのではないか。

管理運営について、会社のために造る施設ではいけない。NPO はプロではない。市はしっかり管理しないといけない。

：ホールのデザインを市の花、市の鳥や市章をイメージするものにすると親しみを持つのではないか。

PFI 方式での建設では 25% コスト削減できている。PFI 方式も検討し

たのか。

- : 公設民営は当初から念頭にあり議論した。
P F I方式の成功例も知っているが、高知のカルポートを視察し、もう少し検討が必要と考えた。
- : 用地決定がスケジュールどおりできるのか心配である。
設計者の決定について、プロポーザル方式が良いと思うが、建設委員会で決めるそうだが可能性はどうか。
- : プロポーザル方式とコンペ方式が残るのではないか。プロポーザル方式だと良い案が出てくる。またパース図やモデルを見ながら検討できる。選定方法は絞込みしていない。予算が必要である。
- : 設計者を選ぶ時、有名な設計者にするのか、知名度よりも当市をよく理解した方が良いのか意見を聞きたい。
- : これまで小委員会では良い方向で考えられ、意見交換できている。基本構想策定委員会から建設委員会へと良い方向に進んでいると思う。
- : 名を取るか、実を取るかの議論だが、実績は必要と考える。例えば幼稚園の園舎は階段の高さなどに注意が必要である。設計者に市民の意見を反映してもらってはどうか。プロポーザル業者選定を早く行い、住民説明会に参加してもらい、プランを披露、意見を聞き反映してもらってはどうか。
- : 安藤忠雄氏の講演を聞いたことがあり、安藤氏は設計時に、そのまちの伝統、文化を徹底的に調べてまちと一体化するものをめざしていると聞いた。名を取るか、実を取るかは極論ではないか。両方あれば一番である。
- : 設計者の実績は考慮すべきではないか。
- : 有名な設計者は哲学を持っており、評価されている。
旧伊予三島市時代に市の基本構想を業者に依頼せず職員の手で策定した。業者委託し策定した他市の総合計画は、大学教授の意見が入っているため手をつけられず、棚上げになっていた。
設計者については当市をよくわかっている人か、そうでない人が迷っている。
- : 設計者については外観だけか。内部については専門家がいるのではないか。
- : 施設全ての設計である。
- : 宮川まちづくり再開発は大阪の業者が設計した。その時は地元の意見を聞いていたが回り道しただけと感じる。まちのことをよく知った人がつくるのが良いのではないか。
- : これまで両館は大切にされてきたのか。ホール完成時にはこれまで定期的に行われてきた市民活動を館の自主事業より優先してほしい。また代替施設の充実が必要ではないか。

- : 両館については市民により大切に利用されてきたと思う。新ホールでは市民活動の根っこを大切にしなければと考えており、企画・運営委員会で話し合ってもらいたい。今後完成までは川之江会館がメインとなると考える。利用者の声を聞きながら、いろいろな方向性を探りたい。
- : 福社会館多目的ホールの音響設備が悪いので、早急に対応してほしい。

閉 会